

異文化間コミュニケーション	履修年次	2	
	単位	2	
大橋 真紀子、Yih Y. Pan (イー エー パン)	配当期	後	
	授業方法	演習/対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>簡便な翻訳機能が急速に発達しているが、今の技術では、字面を訳すことができても、その背景にある文化までは訳すことができない。表面的に言葉が通じて相手との違いを認識し、理解しようとする気持ちがなければ、異文化との衝突は避けることはできない。この授業では「コミュニケーション」や「文化」とは何かの考察から始め、異文化との接触において、起こりうるトラブルを想定し、その中で効果的なコミュニケーションを図っていく態度を習得し、多様性に対して寛容な態度を育む。授業では英語で書かれた教科書を使うが、各章の英文は予習の段階で読み、manaba に要約と自分の考えを入れておくこと。授業では教科書やそのほかの activities を中心に進めていき、理解を深めていく。また 3 回の特別セッションにおいて、海外経験のあるさまざまな立場の方や日本在住の外国の方を招き、体験談やシンポジウムを予定している。</p> <p>This class will mostly be conducted in English.</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会で活躍できる人材としての基礎的な知識を有している。 ・多様で異なる価値観・文化に対する認識を深め、尊重することができる。 ・コミュニケーションに関心を持ち、日本語および英語の運用能力を高め、自分の言葉で表現できる。 ・異文化圏の人であっても、相手の意見を理解し、協調・協働して活動できる態度を持っている。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、提出課題などの平常点に加え、定期試験による総合評価で行う。			
週	授業項目	週	授業項目
1	Introduction:異文化コミュニケーションとは何か Communication	8	特別セッション②
2	CultureNonverbalCommunication	9	Stereotypes
3	CommunicatingClearly	10	CultureandChange
4	CultureandValuesTalkingaboutJapan	11	特別セッション③
5	特別セッション①	12	BecomingaGlobalPerson
6	CultureShock	13	Debate
7	CultureandPerception/Diversity	14	総括